

旭市20周年記念式典を終えて

市長 米本 弥一郎



旭市20周年の節目を祝う式典を、

11月1日に東総文化会館で挙行いたしました。県副知事、国会議員、県議会議員、姉妹都市・近隣市町長をはじめ、ご出席いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

式典では、市の発展にご尽力いただいた79名の方々を表彰し、敬意と感謝の意をお伝えしました。受賞者代表のあいさつでは、明智忠直前市長が東日本大震災からの復旧・復興までの道のりなど、在任中の出来事を振り返られており、私も市長として責任の重さを感じ、身の引き締まる思いでした。

来賓の皆さまからも、旭市がこれまで進めてきた数々の施策や、現在取り組んでいる事業について触れていただきました。旭市の取り組みが広く注目されていることを知り「チーム旭」の方向性が間違っていない

なかったと実感できました。

第2部では、あさひ少女合唱団、旭市観光大使の椎名佐千子さん、桂竹千代さんに出演いただきました。合唱団の歌声は心が洗われるようで、明日への希望を強く感じました。椎名佐千子さんには自ら作詞したという故郷への思いをつづった楽曲を、桂竹千代さんには市の史跡や道の駅などをネタにした落語を披露していただき、お二人の地元愛が伝わるステージとなりました。

多くの方々がちづくりのために汗を流してくださったからこそ、今日の旭市があります。20周年を機に、11月9日を「いい旭の日」として記念日に制定しました。先人が築き上げてきた「いい旭」がさらに浸透していくよう、ウェルビーイングの向上を目指して、真摯に、誠実に、全力で市政に取り組んでまいります。